

協会案内

一般社団法人化学情報協会

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-25-4 中居ビル
TEL.03-5978-3608 FAX.03-5978-3600
www.jaici.or.jp



情報で、科学をひらく

情報は、新しい扉を開けるための鍵だ。
世界を変えるための資源だ。人を幸福へ導くための燃料だ。
私たちは半世紀以上も前から、科学に携わるすべての人を、情報を通じて支えてきました。

必要な科学情報が、いつでも最適な形で手に入る。
その環境を整えることは、これまで世の中に存在しなかった技術を生み出す助けとなり、
新たな未来への近道を示すことにほかなりません。

探究心を減速させない。研究開発を加速させる。
それが JAICI の存在意義であり、より豊かな社会の実現を願う、私たちの使命です。
そのために、自らも変革に挑み続け、これからも人々に感動と幸せをお届けしていきます。
情報が、科学の未来を切り拓くと信じて。

MISSION – 私たちの使命 –

化学を軸とした情報ソリューションにより、
科学技術の発展と豊かな社会の実現に貢献します。

VISION – 私たちの目指す姿 –

真に役立つ情報ソリューションを感動品質で提供し、
科学情報を必要とされるすべてのお客様の最良のパートナーであり続けます。

VALUE – 行動指針 –

誠実

お客様にきめ細かく誠実に対応します。

研鑽

化学と情報のエキスパートとして研鑽を積み、
自らを変革し続けます。

協調

チームワークを大切にしながら、
一人ひとりが自律的に行動します。

幸福

自身と家族、
そして周囲の人々の健康と幸せを大切にします。

倫理

法令や社会規範を遵守し、
高い倫理観をもって行動します。

ごあいさつ



「情報ビッグバン」。世界中で次々と発信される最新の科学技術情報。現在は膨大な量の情報に囲まれた時代です。情報の海の中で、適切な情報を的確、かつ効率よく選び出し活用する、すなわち情報を味方につけることは研究開発や知財マネジメントの鍵であり、新たな知の創造や企業価値の拡大のために不可欠です。

天文学的な数量の科学技術情報の中から役に立つ情報を得るのはもはや個人の力の及ぶところではなく、そこに2次情報データベースの意義があります。しかし、データベースも求める人に求められる情報を素早く提供できなければ真に価値ある情報とは言えません。情報を収集し利用しやすい形に加工して集積することに加えて、利用者の目的とする情報に精確に、容易に到達する機能、さらには得られた情報の分析等々を総合的に提供できること、これらがデータベースに求められています。

化学情報協会は、日本の科学、とりわけ化学分野における統合型データベース検索ツールCAS STNext や研究者向けのCAS SciFinder[®] などの高品質データベースサービスの提供とともに、講習会やヘルプデスク等を通じてその利用支援活動を行っています。また、研究開発を支える結晶構造・質量スペクトルなどの各種データベースや辞典類を提供しています。さらに、これまでの蓄積を活かして医薬・化学・バイオ分野の特許調査サービス、センサー付きの科学技術専門用語辞書サービス、化合物表記の正確な翻訳を実現した高精度機械翻訳サービスも実施しています。

化学情報協会は、皆様に支えられて2021年に創立50周年を迎えましたことを機にミッションを見直し、ビジョン・バリュー・タグラインを定め、ロゴを刷新しました。これから新しいミッションを胸に、皆様のより幅広い、より高度なニーズに対してご満足いただけるソリューションを提供できるように自らを変革し続け、情報で、科学をひらいてまいります。

化学情報協会 理事長
一井 朗

研究開発者の情報ニーズと 世界の科学技術情報をつなぐ

化学情報協会は、世界の化学情報の流通を図るために時代に求められ1971年に設立しました。

現在は、さらに幅広い分野にお役に立てるよう、化学はもとより多様な科学技術の発展を支援するための科学技術情報プラットフォームとして活動しています。

世界最大の化学分野のデータベース提供者である米国CASをはじめ、世界的な情報機関との協力関係によって、信頼性と網羅性の高い情報を提供しています。



協力体制

 CAS A division of the American Chemical Society CAS 米国化学会 (American Chemical Society) の情報部門であるCASは化学情報の世界的な権威です。 CASのサービスは世界の化学・製薬企業、大学、政府機関、特許庁によって利用されています。	 FIZ Karlsruhe Leibniz Institute for Information Infrastructure FIZ Karlsruhe ドイツ連邦共和国と連邦諸州にサポートされた科学情報機関で、学術情報基盤の研究・開発に関係する91の研究機関を擁するライプニッツ協会に加盟しています。 FIZ Karlsruheは世界中の科学者の研究開発やビジネスを支援しています。	 CCDC advancing structural science CCDC (The Cambridge Crystallographic Data Centre) 英国のケンブリッジ結晶学データセンターは、結晶学研究者、分子設計研究者に広く活用されているケンブリッジ結晶構造データベース (CSD) を提供している非営利機関です。
---	--	---

世界のデータベースの情報検索サービス

Online Database Services

- エンドユーザー向け科学情報検索ツール CAS SciFinder[®]
- 情報専門家向け科学技術分野の検索ツール CAS STNext
- 特許検索・解析ツール CAS Scientific Patent Explorer
- 世界最大の製剤・配合コレクション CAS Formulus
- 科学的分析手法の検索ツール CAS Analytical Methods
- 物質規制情報検索ツール CAS Chemical Compliance Index
- 特許モニタリングサービス FIZ PatMon

結晶構造データベースなど 学術価値の高いデータベースサービス

Fact Databases & Software

- 分子性結晶関連ツール CSD-Core、CSD-Materials
- 創薬支援ツール CSD-Discovery、CSD-Enterprise
- 無機マテリアル系データベース ICSD、相図データベース
- 質量スペクトルデータベース NIST20、Wiley Registry
- 化合物辞典シリーズ CHEMnetBASE



個別のニーズに対応した情報サービス

Client Support Services

- CAS登録番号 (CAS RN[®]) の取得代行サービス CAS Registry Services
- 製品カタログ情報提供サービス CAS Chemical Supplier Insights
- 用途に合わせて選択できる機械翻訳サービス JAICI AutoTrans、JAICI ProTranslator
- 専門用語豊富なシンソーラス付き辞書 JAICI Science Dictionary Pro、JSD Web API
- 文献複写サービス FIZ AutoDoc

医薬、化学、バイオの特許調査サービス

Search & Analysis Services

- 特許調査
・先行技術 ・侵害予防 ・無効資料 ・技術動向
- 非特許文献調査
- 物質関連調査
・配列検索 ・構造検索 ・ポリマー検索
- SDI 調査
- STNのアラート登録

協会沿革

- | | |
|-------|--|
| 1968年 | ▶ 米国化学会 (ACS) が日本化学会に CASデータベース入力のための組織設立協力を要請 |
| 1969年 | ▶ 科学技術会議 (総理府) 科学技術情報調査団がCAS訪問
▶ 日本化学会が化学情報特別委員会を設置 |
| 1970年 | ▶ 日本化学会ほかの学協会が化学情報に関する協議会設立を決定 |
| 1971年 | ▶ 化学情報協議会創立、事務所をメイキビル (東京都港区) に開設 |
| 1972年 | ▶ 事務所を日本薬学会 長井記念館 (東京都渋谷区) に移転 |
| 1975年 | ▶ 文部省、総理府 (科学技術庁) 共管の社団法人として認可 |
| 1976年 | ▶ 事務所を日本化学会 (東京都千代田区) に移転 |

- | | |
|-------|--|
| 1977年 | ▶ CASと包括的協力協定の成立
▶ 名称を社団法人化学情報協会に改名 |
| 1979年 | ▶ 事務所を学会センタービル (東京都文京区) に移転 |
| 1980年 | ▶ CASの総代理店になり、CAS ONLINE サービス開始 |
| 1982年 | ▶ CASデータベースへの入力業務開始 |
| 1983年 | ▶ CAS/ACSとFIZ Karlsruheの間でSTN運用協定の調印
▶ CCDCとケンブリッジ結晶構造データベースCSD販売契約締結 |
| 1984年 | ▶ STN東京サービスセンターとなる |
| 1987年 | ▶ STN東京サービスセンターをJICST (現 JST) に移設し、JICSTとSTN東京の代理店契約を締結 |

- | | |
|-------|--|
| 1988年 | ▶ 無機結晶構造データベースICSD販売開始 |
| 1989年 | ▶ NISTの質量スペクトルのデータベース販売開始 |
| 1993年 | ▶ 事務所を中居ビル (東京都文京区、現所在地) に移転 |
| 1997年 | ▶ 日本国内向けにSciFinderサービス開始 |
| 2002年 | ▶ JSTとのSTN東京サービスセンター共同運営開始 |
| 2005年 | ▶ 特許庁の登録調査機関としての活動開始 |
| 2007年 | ▶ STN東京サービスセンター単独運用開始 |
| 2011年 | ▶ 知財情報センター (SHIPS) 発足、特許調査・解析サービス開始
▶ 新法に基づき移行認可取得し、一般社団法人化学情報協会へ移行 |
| 2017年 | ▶ JAICI Science Dictionary 提供開始。CAS SciFinder [®] サービス開始 |

- | | |
|-------|---|
| 2018年 | ▶ JAICI AutoTrans サービス開始 |
| 2019年 | ▶ Wiley Registry 販売開始
▶ FIZ PatMon、CAS Formulus サービス開始 |
| 2020年 | ▶ ACeS-NIST 相平衡状態図データベース PHASE 販売開始
▶ JAICI ProTranslator サービス開始
▶ ASM International の合金相図データベース販売開始 |
| 2021年 | ▶ CAS Scientific Patent Explorer サービス開始
▶ CAS SciFinder Discovery Platform 提供開始
▶ STN IP Protection Suite 提供開始
▶ JSD Web API および JAICI Science Dictionary Pro サービス開始 |



Online Database Services

世界中の科学技術・特許情報にアクセスできる 情報検索プラットフォームを提供します

世界中の科学技術情報や特許情報を提供する情報検索サービスCAS SciFinder[®]やCAS STN[®]Nextを中心とした、研究開発および特許調査向けプラットフォームを提供しています。

企業・研究活動におけるあらゆる課題に対して、必要なソリューションを提供し、科学技術の発展に寄与します。リソースの有効活用を支援すべく、講習会やヘルプデスク等を通じたユーザーサポートを行っています。

CAS SciFinder Discovery Platform

【研究開発向け】情報検索ツールを総合的に利用できるエンタープライズ型サービスを提供します。

CAS SciFinder[®]

エンドユーザー向けの科学技術情報の検索ツール

論文・特許に加え世界中の化学物質および有機化学反応情報を網羅的に検索できるほか、CAS独自システムに基づき逆合成解析を自動で行うツール Retrosynthesis Planner により合成研究のスピード向上を実現します。

CAS Formulus

世界最大の製剤・配合コレクション

製剤設計や配合関連業務の専門家向けの製剤・配合情報に特化した検索サービスです。

CAS Analytical Methods

科学的分析手法の検索ツール

化学物質や生体分子に関する分析手法の調査に特化した検索サービスです。

その他のソリューション

CAS Chemical Compliance Index

物質規制情報検索ツール

CAS登録番号(CAS RN[®])を管理するCASが作成した世界中の化学物質規制情報検索ツールです。

STN IP Protection Suite

【特許調査向け】初級者から専門家まで、あらゆる調査ニーズに総合的なソリューションを提供します。

CAS STN[®]Next

情報専門家向け科学技術分野の検索ツール

特許、雑誌論文、医薬品、化学物質、CAS登録番号(CAS RN[®])、配列を含む広範な科学技術分野の情報を提供するオンライン情報サービスです。世界中の特許庁や企業の情報専門家により、最前線で活用されています。

CAS Scientific Patent Explorer

化学コンテンツと特許情報を融合した調査・解析ツール

CAS独自の貴重な化学物質の情報と広範な特許情報を組み合わせた、操作性のよい特許調査ツールです。

FIZ PatMon

FIZ Karlsruhe 提供の特許モニタリングサービス

簡単な設定のみで、全技術分野を包括する世界中の特許情報を対象に、注目する特許のパテントファミリーの発行、およびその法的状況をモニタリングできます。

ユーザーサポート

ヘルプデスク

技術的なご質問に対し、ユーザーの方の疑問を的確に捉え、優れた機能を使いこなしていただくために専門スタッフが日本語で迅速にお答えします。

講習会

各サービスの検索テクニックを紹介する講習会を開催しています。新規ユーザー向け説明会、社内・学内教育のための講習会など、ご希望に沿った内容でのセミナーも承っております。

ホームページ、ニュースレターからの情報提供

日本語による検索資料や機能強化紹介など、化学情報協会 ホームページやニュースレターを通じて提供しております。





Client Support Services

世界への情報発信をはじめ、さまざまなニーズにお応えします

化学物質や製品の研究開発に役立つ、世界の科学・技術データベースの提供に加え、情報の受発信に付随するさまざまなサービスをご用意。
化学物質の輸出入や各国の化学物質規制に利用されているCAS登録番号(CAS RN®)の取得代行サービスをはじめ、世界に向けた化学物質・製品の情報発信など、個別のリクエストにお応えします。

CAS登録番号(CAS RN®)関連のサービス

CAS登録番号(CAS RN®)とは

CAS RN®は、個々の化学物質に付与された世界共通の固有の識別番号です。
一つの物質や分子構造にさまざまな体系名、一般名、商品名、慣用名などが存在する場合にもCAS RN®により化学物質を間違いなく同定できます。
CAS RN®は、データベース、試薬カタログ、辞典類等に記載されるほか、各国の規制リストや法規制上の番号としても広く利用されています。

■ 化学物質命名サービス (Chemist Consultation)

申込書に記載された化学物質に関する情報をもとに、CASの命名基準に基づいたCA索引名およびCAS RN®をお知らせします。新規物質にはご希望によりCAS RN®をアサインします。

■ IESサービス (Inventory Expert Service)

米国環境保護庁(EPA)の有害物質規制法(TSCA)に基づく製造前届出(PMN)申請のために必要なCA索引名を付与します。
ご希望によりCAS RN®をアサインします。

■ Registry Lookupサービス (CAS Registry Lookup)

CASのスタッフが、物質名またはCAS RN®からREGISTRYファイル内を検索し、登載情報を回答します。

■ CAS登録番号(CAS RN®)ライセンスプログラム

自社サービスでCAS RN®を使用するためのライセンスを取得するプログラムです。

自社取扱いの化学物質を世界に向けて発信

■ CAS Chemical Supplier Insights (企業製品カタログ登録サービス)

CASが蓄積している市販化学物質とその供給業者に関する情報(CAS Commercial Sources)に、製品カタログ掲載データを登録するサービスです。
本サービスを通じて、CAS SciFinder® や CAS STNext から、世界中に化学物質情報を発信できます。

用途に合わせて選択できる機械翻訳サービス

■ JAICI AutoTrans

化学物質表記に強い! 特許・文献に最適な機械翻訳サービスです。
特許原文、CAS SciFinder®/CAS STNext の検索結果、お手元の文献/抄録一覧Excelファイルに日本語対訳を付与できます。
中国語・韓国語・英語文献(特許/非特許)調査の効率化を支援します。



■ JAICI ProTranslator

高品質の機械翻訳を下訳に! 人手で仕上げる訳文編集機能付き機械翻訳サービスです。
中国語・韓国語・英語のほか、欧州言語の翻訳も可能です。
自社保有の用語集・対訳リストの翻訳への適用、翻訳エンジンのカスタマイズができます。



専門用語豊富なシソーラス付き辞書

■ JAICI Science Dictionary Pro

化学や医学・薬学を中心とした科学技術関係の国内外の論文および特許情報から集めた専門用語を収録しています。
「上位語」「下位語」「同義語」「関連語」など複数の用語間の関係性を調べられます。
化合物の一部には中国語の同義語も表示します。

■ JSD Web API

JAICI Science Dictionary Pro の英日対訳・同義語を参照できるWeb APIです。
社内アプリケーションなどのシステムに、辞書検索機能を追加できます。

原報複写サービス

■ FIZ AutoDoc

約20万誌の雑誌、会議録、書籍、特許明細等をオンラインで注文できるサービスです。
FIZが提携している20以上の文献提供元から最適な提供元を自動的に選択し、直接お届けします。





Fact Databases & Software

多様な研究開発をデータベースとソフトウェアでご支援します

化学に携わる人々の研究活動や製品開発をあらゆる側面から支援するため、「結晶構造データベース」をはじめとする化学のファクトデータベースやソフトウェアを多数取り扱っております。これからも技術の進歩とユーザーのニーズに応じた、さまざまな化学情報製品を取り揃え提供していきます。

化学分野のさまざまなファクトデータベースやソフトウェアを提供しています

有機・無機分野の結晶構造データベースをはじめ、創薬を支援するライフサイエンス系ソフトウェアや、化合物の辞典類など幅広い製品を取り揃えております。

論文で報告された化合物のファクトデータを直接検索できる各種データベースには、結晶学データや化合物の2D・3D構造、合成法、物性、スペクトル情報、文献情報が整理された形で収録されています。研究ニーズにあわせたデータベースをご利用いただくことで、最新のファクトデータをすぐに手に入れることができます。また、データベースには必要な検索・表示・解析プログラムが付属しており、研究を手助けします。

創薬や製剤研究に役立つソフトウェアは、適切なデータベースとあわせて使うことで、より威力を発揮できます。研究者の細かいニーズに対応した専門性の高いソフトウェアの利用を、サポートいたします。

CCDC
advancing structural science

ICSD
FIZ Karlsruhe

The American Ceramic Society
www.ceramics.org

NIST
National Institute of Standards and Technology
U.S. Department of Commerce

ASM
INTERNATIONAL

CRC Press
Taylor & Francis Group

WILEY

ユーザーサポート

製品開発元への橋渡しやセミナー開催、ユーザー訪問などを通じて、データベースやソフトウェアをより有効にご利用いただくためのサポートを行っています。また、製品の日本語マニュアルなどの技術資料を作成し、ユーザーに提供しています。

分子性結晶関連ツール | 結晶構造の解析から理解・活用まで

- CSD-Core ケンブリッジ結晶構造データベース 〔製作元：英CCDC〕
- CSD-Materials 結晶構造を基盤としたアプリケーションのパッケージ 〔製作元：英CCDC〕

創薬支援ツール | ライフサイエンス系ソリューション

- CSD-Discovery ライフサイエンス系アプリケーションのパッケージ 〔製作元：英CCDC〕
- CSD-Enterprise CSDと全CCDCアプリケーションの総合パッケージ 〔製作元：英CCDC〕

無機マテリアル系データベース | 機能性材料の設計・開発や物質の同定に

- ICSD 無機結晶構造データベース 〔製作元：独FIZ Karlsruhe〕
- ACerS-NIST Phase Equilibria Diagrams セラミックス相図データベース 〔製作元：米American Ceramic Society、米NIST〕
- ASM Alloy Phase Diagram Database 合金相図データベース 〔製作元：米ASM International〕

基礎研究支援ツール | 化合物のデータ検索に

- CHEMnetBASE 化合物辞典シリーズ 〔製作元：英・米Taylor & Francis Group / CRC Press〕
* 化合物大辞典 (Combined Chemical Dictionary) * 天然物辞典 (Dictionary of Natural Products) 他

質量スペクトルデータベース | 質量分析のアドバンスツール

- NIST20 NISTのEI・MS/MSスペクトルデータベース 〔製作元：米NIST、EPA、NIH〕
- Wiley Registry 第12版 世界最大級のEISペクトルデータベース 〔製作元：米Wiley〕



Search & Analysis Services

医薬、化学、バイオ分野の特許調査を行っています

科学技術立国を目指す日本の企業、大学、その他研究機関では、知的財産権に関わる活動がますます重要になっています。化学情報協会は、特許およびその他の技術情報調査の信頼できるアウトソーシング先として、データベース検索技術、科学と特許の専門知識を有する確かな人材でお応えします。

知財情報センター (SHIPS)

医薬、化学、バイオ分野に特化した特許調査サービスを提供しています

製薬・化学系企業出身、薬学博士などのスタッフ陣による高い専門性、種々のデータベースを駆使した高度な検索技術、企業の知財・調査部門、特許庁登録調査機関での実務経験に基づく特許の知識を生かし、SHIPSにしかできない高品質な調査サービスを提供しています。



■ 特許調査

調査目的とご予算に応じて最適な調査方法を企画します。

通常は以下の調査タイプ別に対応しております。

- ◆ 先行技術調査 …… 調査テーマに応じて適切なデータベースを選択します (STN、JP-NET、PatBase など)。
- ◆ 侵害予防調査 …… 分類やキーワードだけでなく、CAS RN®や統制語を用いて複数のデータベースを検索します。
また公報スクリーニング結果には定評があります。
- ◆ 無効資料調査 …… 50を超える文献データベースを用いて非特許文献も網羅的に調査できます。
- ◆ 技術動向調査 …… 解析ソフトでは対応できないご希望の観点に沿って調査いたします。
調査結果の解析およびマップ化も対応しています。

■ その他調査

文献調査、物質関連調査 (配列検索、構造検索、ポリマー検索)、SDI調査、STNのアラート登録なども承っています。

■ 調査実績

大手企業 (製薬メーカー、化学メーカー、食品・飲料メーカー、化粧品メーカーなど)をはじめ、大学、公的機関、特許事務所など、多くのお客様からご依頼をいただいています。

- ・ 医薬・診断薬・製剤・抗体・遺伝子・細胞・再生医療・生体適合性材料・農業・化粧品・パーソナルケア用品
- ・ 食品・飲料・フィルム・繊維・有機EL・半導体基板・電池・無機材料
- ・ 生分解性材料・バイオマス・リサイクル・環境・エネルギー 他



特許調査部



特許の先行技術調査を通して「知的財産立国」の実現に貢献しています

産業技術の発展と国民生活の向上のために、産業財産権制度における特許審査が重要度を増し、その正確さと迅速さが求められています。当協会は、2005年から特許庁の先行技術調査の外部委託先として登録され、STNによる化学構造検索を利用した調査を担当しています。



■ 有機化合物に関する「区分30」の先行技術調査

特許出願の際、特許庁での審査段階においては、特許性 (新規性、進歩性) の観点から先行技術の有無を厳しく調べる必要があります。

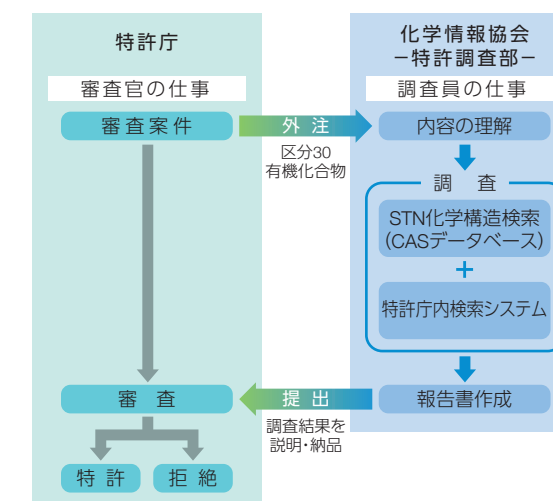
当協会は、有機化合物に関する区分30 (39に分けられた技術分野の一つで、医薬・農業・電子材料等の有機化合物特許) における判断材料となる情報を調べて提供する業務を担当しています。

■ CASデータベースによる化学構造検索

STNのCASデータベースを駆使して、調査すべき特許の特許請求範囲に記載された一般式 (マーカッシュ構造) に含まれる化合物の検索などを行い、調べ上げ、その結果を報告書にまとめていきます。

豊富な化学知識や有機合成の現場経験のあるベテランが、質の高い調査を行っています。

■ 特許審査業務の流れ

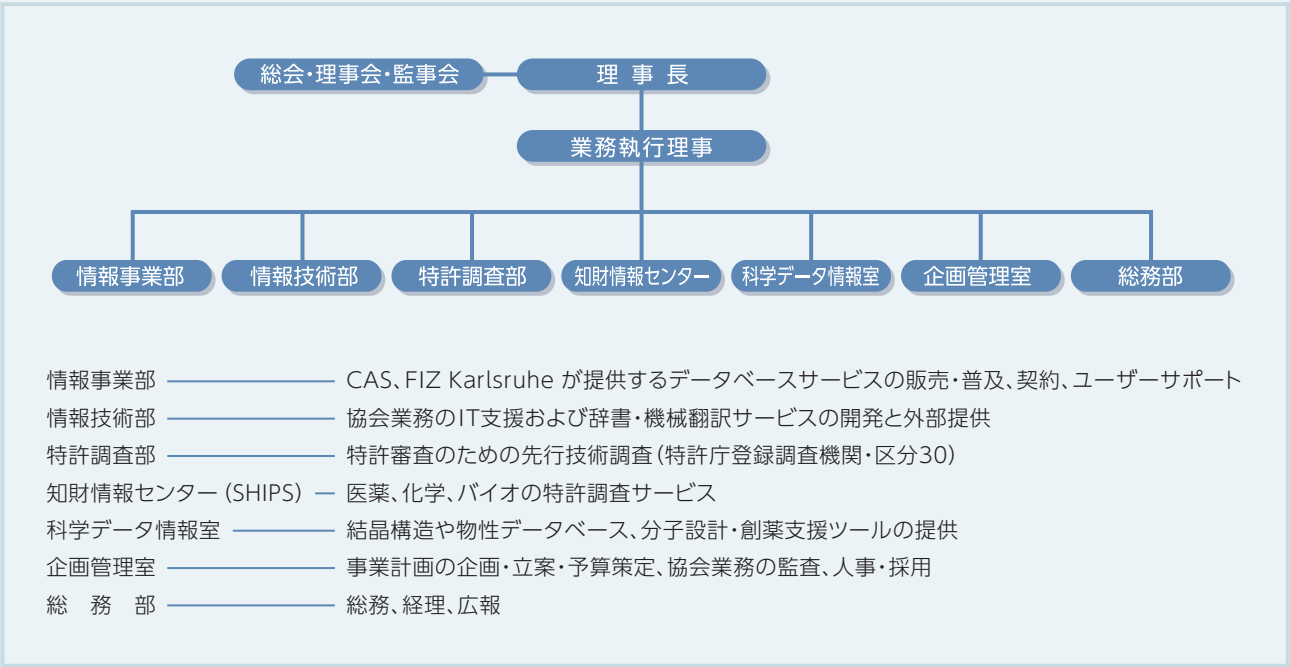


About us

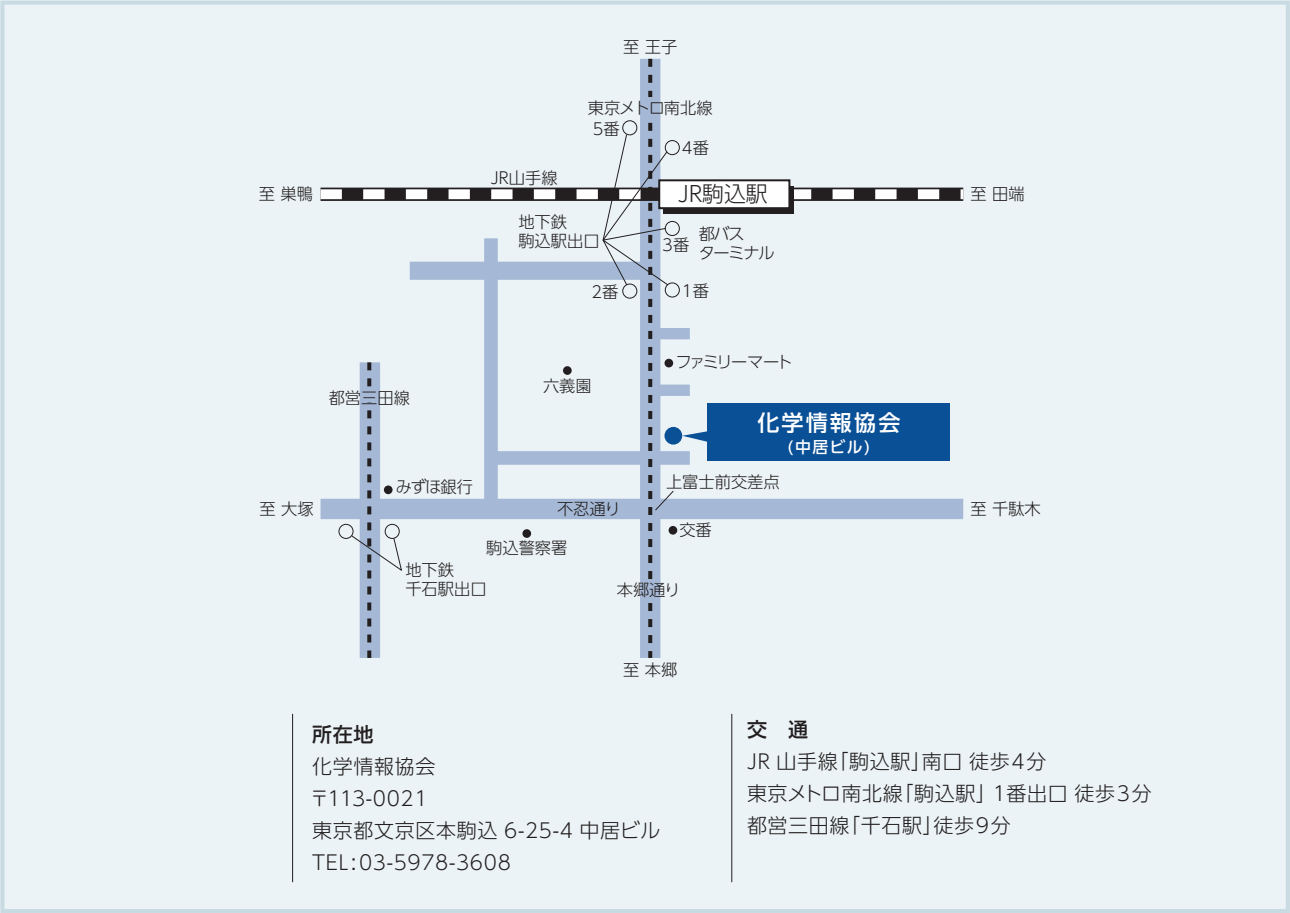
協会概要

法人名	一般社団法人 化学情報協会 Japan Association for International Chemical Information 略称：JAICI
所在地	〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-25-4 中居ビル
設立	1971年(社団法人認可 1975年7月、一般社団法人移行登記 2011年4月)
代表者	理事長：一井 朗
会員	(2022年4月1日現在) ■ 正会員1種 化学工学会、火薬学会、高分子学会、色材協会、触媒学会、石油学会、繊維学会、電気化学会、 日本エネルギー学会、日本化学会、日本結晶学会、日本ゴム協会、日本生化学会、日本生物工学会、 日本セラミックス協会、日本地球化学会、日本トライボロジー学会、日本農芸化学会、日本分析化学会、 日本薬学会、無機マテリアル学会、有機合成化学協会 ■ 正会員2種 旭化成(株)、味の素(株)、アステラス製薬(株)、(株)クレハ、JSR(株)、昭和電工(株)、 住友化学(株)、東レ(株)、日本化薬(株)、日本曹達(株)、富士フイルム(株)、三井化学(株)、 三菱ケミカル(株)、UBE(株)、ライオン(株)

組織



アクセス



※本協会案内で記載している社名/団体名・製品名・サービス名は、各社/各団体の商標または登録商標です。